

三次元画像可視化システム

VOLUME EXTRACTOR

ボリューム エクストラクター

使いやすさ
アップ!

Version 3.5.0.0

バージョンアップ内容

- **セグメンテーション機能の強化（その1）**
画面上で折れ線、曲線、フリーハンドで3次元画像を切り抜けるようになりました。そのため、歯科用CT画像のアーチファクトの除去、骨領域・心臓領域の抽出が容易になりました（図1、図2）。
- **セグメンテーション機能の強化（その2）**
領域拡張法で抽出した領域を、2値化後の数値以外に元画像の画素値を保管することが可能になりました。その結果、他の用途への利用が容易になりました。
- **他の改良点**
DICOM 画像の Image Orientation タグに対応しました。

カスタマイズサービス

日常業務等でお悩みの場合、何でもご相談ください！

- ・画像処理フィルタの作成
- ・処理の自動化
- ・パラメータ設定
- ・プログラム開発
- ・3D プリンタ用造形モデル作成

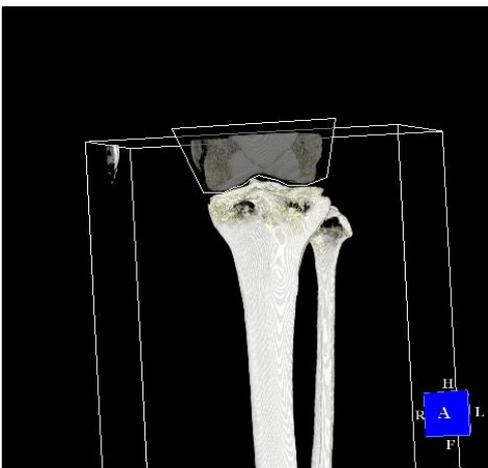


図1 消去領域選択



図2 領域消去後の3次元画像